

かくだ市議会だより



第423回臨時会

- 概要 2
- 議会の構成 3

第422回定例会

- 概要・質疑・議案審議結果 4
- 決算審査特別委員会 5
- 一般質問 6～11

角田市議会から 12

【今号の表紙】『西根田んぼアート』

今年も賑わった西根田んぼアート。
絵柄の刈り取り後も楽しめます。

《撮影》大沼 義治 さん

撮影日：令和5年10月6日 場 所：角田市高倉

表紙写真・イラスト等募集しています

詳細は角田市ウェブサイト内「かくだ市議会
だより表紙写真・イラスト募集」をご覧ください。



新たな議会の構成をお知らせします

凡例：●委員長 ○副委員長 ★会長 ☆副会長

議会運営委員会 (6人)

議会の運営や会議規則・委員会条例などについて、調査や審査を行います。

- 八島 定雄 ○戸村眞喜夫
- 齋藤 強 瀧口 聖人
- 菅野 マホ 小湊 毅

議会だより編集会議 (6人)

かくだ市議会だよりの編集・発行や議会の広報などについて協議します。

- ★戸村眞喜夫 ☆八島 定雄
- 齋藤 強 瀧口 聖人
- 菅野 マホ 小湊 毅

所属会派

会派とは、市政への考えや意見が同じ議員の集まりで、現在3つの会派があります。

かくだ未来倶楽部 (4人)

- ★武藤 広一 ☆菅野 マホ
- 瀧口 聖人 湯村 勇

会派一心 (4人)

- ★菊地 利衛 ☆小湊 毅
- 戸村眞喜夫 渡邊 誠

日本共産党角田市議団 (2人)

- ★日下 七郎 八島 定雄

無会派 (会派に所属しない議員)

- 星 隆悦
- 齋藤 克敏
- 齋藤 強
- 柄目 孝治
- 堀田 孝一
- 馬場 道晴

常任委員会 (各8人)

①所属会派
②住所

常任委員会は、議会の内部機関で、市の業務を大きく2つの分野に分け、専門的な調査や議案の審査を行います。

教育厚生建設常任委員会

【所管】市民福祉部、都市整備課、建築住宅課、上下水道事業所及び教育委員会

かんの
●菅野 マホ
①かくだ未来倶楽部
②角田字寺前139-3

さいとう つよし
○齋藤 強
①無会派
②角田字裏町6-9

きくち としえ
菊地 利衛
①会派一心
②花島字三森138

むとう こういち
武藤 広一
①かくだ未来倶楽部
②毛萱字平吾1

ほった こういち
堀田 孝一
①無会派
②君萱字仏供田13

やしま さだお
八島 定雄
①日本共産党角田市議団
②横倉字平41-2

わたなべ まこと
渡邊 誠
①会派一心
②鳩原字瀬ノ木橋41

つかのめ こうじ
柄目 孝治
①無会派
②角田字牛館12

総務産業常任委員会

【所管】総務部、農林振興課、商工観光課、会計課、議会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会及び固定審査評価審査委員会

こみなと たけし
●小湊 毅
①会派一心
②笠島字竹野内6-1

ほし りゅうえつ
○星 隆悦
①無会派
②角田字大町39-8

さいとう かつとし
齋藤 克敏
①無会派
②角田字旭町32-1

たきぐち まさひと
瀧口 聖人
①かくだ未来倶楽部
②高倉字寺前4-1

とむらまき お
戸村眞喜夫
①会派一心
②島田字郷主内86

ばば みちはる
馬場 道晴
①無会派
②花島字里前139

ゆのむら いさみ
湯村 勇
①かくだ未来倶楽部
②横倉字古長岡11

くさか しちろう
日下 七郎
①日本共産党角田市議団
②島田字桜井2-1

第423回臨時会

新たな角田市議会スタート

改選後の初議会となる第423回臨時会が10月2日に1日の会期で開会されました。この臨時会では、議長・副議長の選挙をはじめ、常任委員及び議会運営委員の選任など議会の構成を決定したほか、選挙管理委員及び同補充員の選挙などが行われました。また、市長から提出された補正予算を承認、監査委員の選任について同意しました。



副議長
堀田 孝一

正副議長 就任のごあいさつ



議長
馬場 道晴

このたびの臨時会において、議長並びに副議長に就任いたしました。重責を担うことになり身の引き締まる思いでございます。9月に施行された市議会議員選挙において、投票率が過去最低となる54.41%であったことは、市民の皆さまの市議会への関心の低さであると重く受け止め、これからの議会運営に力を尽くす所存でございます。

現在、本市は人口減少、防災・減災、公共交通など角田市第6次長期総合計画の施策に取り組むほか、異常気象に伴う自然災害や持続可能な行財政運営など数多くの課題に直面しており、市民の皆さまの安全安心を見出すことは重要であります。このような状況に対して、市議会は、市民目線で見える議会、議員間討議を活発にして政策の立案・提言をしていく議会の実現を目指してまいります。また、市民の皆さまの負託に応えるため、全議員が一丸となり取り組んでまいります。

今後とも、格別のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。

選挙

- ▶仙南地域広域行政事務組合議会議員
武藤 広一
- ▶みやぎ県南中核病院企業団議会議員
菅野 マホ
戸村 眞喜夫
- ▶宮城県後期高齢者医療広域連合議会議員
日下 七郎

▶選挙管理委員及び同補充員

選挙管理委員	選挙管理委員補充員
<再任> 齋藤 みつ	<新任> 穴戸 広司 (第1順位)
<再任> 手塚 収	<新任> 今野 正 (第2順位)
<新任> 手塚 文雄	<新任> 堀米 正利 (第3順位)
<新任> 齋藤 辰男	<再任> 水野 久男 (第4順位)

任期：令和5年10月6日～(4年間)

人事案件

- ▶識見を有する者のうちから選任する監査委員の選任について
<新任> 佐藤 良浩 任期：令和5年10月4日～(4年間)
- ▶議員のうちから選任する監査委員の選任について
<新任> 星 隆悦 任期：令和5年10月2日～令和9年9月30日

審議結果一覧

●賛成と反対がわかれたもの

【○】は賛成、【×】は反対、【除】は除斥(一身上に関する審議)による退席を表します。議長(馬場道晴)は採決に加わりません。

提出者	議案番号	件名	審議結果(賛成:反対)	かくだ未来倶楽部				会派一心		日本共産党角田市議団	無会派(会派に所属しない議員)						
				武藤 広一	菅野 マホ	瀧口 聖人	湯村 勇	菊地 利衛	小湊 毅	戸村眞喜夫	渡邊 誠	日下 七郎	八島 定雄	星 隆悦	齋藤 克敏	齋藤 強	柄目 孝治
市	議案第70号	識見を有する者のうちから選任する監査委員の選任について	同意(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
長	議案第71号	議員のうちから選任する監査委員の選任について	同意(11:3)	○	○	○	×	○	○	○	×	×	除	○	○	○	○

●全員が賛成したもの

議案第69号 専決処分の報告並びにその承認を求めることについて(令和5年度角田市一般会計補正予算(第6号))

令和4年度各種会計歳入歳出決算一覧表

会計区分	決算額		
	歳入	歳出	
一般会計	180億9,487万円	172億8,681万円	
特別会計	国民健康保険事業	33億9,268万円	
	後期高齢者医療	3億8,840万円	
	介護保険	31億6,822万円	
	産業用地造成事業	5,193万円	
	東根財産区	30万円	
	計	70億153万円	68億4,074万円
企業会計	水道事業	9億8,887万円	
	資本的収入支出	8,114万円	
	下水道事業	9億8,406万円	
	資本的収入支出	8億9,330万円	
	計	29億4,737万円	32億7,747万円
	合計	280億4,377万円	274億502万円

8月定例会では、議会議出監査委員を除く議員15人で構成する決算審査特別委員会（馬場道晴委員長、星守夫副委員長）を設置し、令和4年度の市の事業に使われた費用や成果について審査を行いました。

一般会計・特別会計は賛成多数で、事業会計は全会一致でいずれも認定すべきものと決しました。

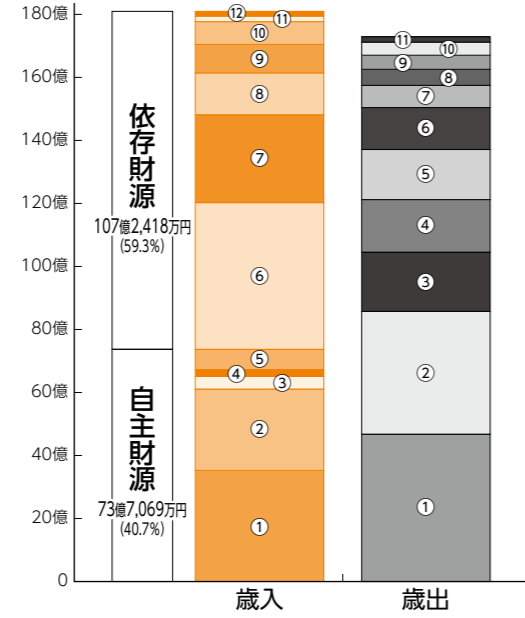


▲現地調査（枝野橋災害復旧工事）

令和4年度決算認定

グラフで見る一般会計の内訳

- 【歳入】180億9,487万円
- ⑫その他 1億5,152万円
 - ⑪地方譲与税 1億7,423万円
 - ⑩地方消費税交付金 7億2,257万円
 - ⑨県支出金 9億509万円
 - ⑧市債 13億2,736万円
 - ⑦国庫支出金 27億8,932万円
 - ⑥地方交付税 46億5,409万円
 - ⑤使用料等 6億4,379万円
 - ④繰入金 2億1,933万円
 - ③諸収入 3億9,785万円
 - ②寄附金 25億8,198万円
 - ①市税 35億2,774万円



- 【歳出】172億8,681万円
- ⑪その他 1億6,685万円
 - ⑩消費費 4億1,686万円
 - ⑨商工費 4億4,686万円
 - ⑧災害復旧費 5億921万円
 - ⑦農林業費 7億466万円
 - ⑥公債費 13億3,128万円
 - ⑤衛生費 15億8,932万円
 - ④教育費 16億6,723万円
 - ③土木費 18億8,119万円
 - ②総務費 38億9,556万円
 - ①民生費 46億7,779万円

災害復旧事業、学校統廃合事業、新型コロナウイルス感染症対策、経済軽減対策、物価高騰対策等、状況を見据えて的確な事業・対策を講じている。また、将来の財政需要に備えた財政健全化にもしっかりと取り組んでおり、地域の持続的な発展や市民の安心安全を確保する事業を実施し、多くの成果を成し遂げている。最大の効果を取り組んできた当局に感謝し、賛成する。



賛成
堀田 孝一

マイナンバーカードがなければ様々な公的サービスが受けられない状況を作りだし、国は実質的にカード取得を強要している。また、カードに紐づけされた健康保険証の使用は、個人の所得・資産・医療・教育等の膨大な情報が政府に集中し、国民による個人の管理が進まかねない。市民は情報漏えいの不安を払拭できていない。加えて、国においては社会保障費のさらなる削減が大きな目的であるため、反対する。



反対
八島 定雄

本会議での討論

議案第57号 消防施設費
(測量調査業務委託料) 25,839千円

問 角田消防署の移転候補地に高畑南地区が選定された理由を問う。

答 仙南地域広域行政事務組合より、①市街地に位置すること、②隣接市町との交通の便が良い幹線道路に面していること、③燃料補給がスムーズにできること、④車両出入口が12メートル以上あること、⑤敷地面積が3,800平方メートル以上確保できること、⑥浸水被害が極力少ない場所であることとの条件が示され、同組合と協議を重ねて選定した。

▲角田消防署

議案第58号 道路新設改良費
(田町地内建物等解体撤去工事費) 11,479千円

問 工事の詳細内容と今後のスケジュールについて問う。

答 場所は田町地内の寄附受納地で、住宅建物と農業用小屋など5棟の解体撤去を行い、田町地区と大町地区を連絡する道路として整備を進める。令和5年度に建物などの解体撤去、令和6年度に整備予定箇所の北側にある市道扇町大町1号線との交差点の取付部の用地測量及び用地買収補償を行う。令和7年度に道路整備工事に着手し、令和8年度の完成を予定しているが、調整を図りながら早期に完成できるように検討していく。

教育委員会委員の任命
《再任》大内 啓 邦
任期 令和5年10月1日～(4年間)

第422回 8月定例会

第422回定例会は8月1日から8月28日までの28日間の会期で開かれました。

市長から提案のあった教育委員会委員の任命、条例の改正、補正予算、令和4年度各種会計決算などの議案16件を審議し、原案のとおり同意・可決・認定しました。

また、一般質問では、11人の議員が市政全般にわたり論戦を繰り広げました。

今年は議員改選のため、8月に定例会が開催されました。

審議結果一覧

●賛成と反対がわかれたもの

○…賛成 ×…反対 -…退席又は欠席 議長（渡邊 誠）は採決に加わりません。

提出者	議案番号	件名	審議結果(賛成:反対)	会派一心		市民クラブ		日本共産党	志政クラブ	無会派								
				菊地 利衛	小湊 毅	星 隆悦	戸村 眞喜夫	星 守夫	小島 正	湯村 勇	日下 七郎	八島 定雄	堀田 孝一	武藤 広一	菅野 マホ	馬場 道晴	柄目 孝治	相澤 邦戸
市長	議案第63号	令和4年度角田市一般会計及び各種特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

●全員が賛成したもの

提出者	議案番号	件名
市長	議案第53号	教育委員会委員の任命について
	議案第54号	角田市都市計画税条例の一部改正について
	議案第55号	角田市放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部改正について
	議案第56号	市営住宅条例の一部改正について
	議案第57号	令和5年度角田市一般会計補正予算(第4号)
	議案第58号	令和5年度角田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
市長	議案第59号	令和5年度角田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
	議案第60号	令和5年度角田市介護保険特別会計補正予算(第2号)
	議案第61号	令和5年度角田市水道事業会計補正予算(第2号)
	議案第62号	令和5年度角田市下水道事業会計補正予算(第2号)
市長	議案第64号	令和4年度角田市水道事業会計決算の認定について
	議案第65号	令和4年度角田市下水道事業会計決算の認定について
	議案第66号	債権の放棄について
	議案第67号	令和5年度角田市一般会計補正予算(第5号)
議案第68号	令和5年度角田市介護保険特別会計補正予算(第3号)	

一般質問とは、角田市のさまざまな課題などについて、市長や教育長などに対し、事務の執行や将来の考えを質すことです。質問は一問一答で、議員1人につき30分以内（答弁時間は含めない）で行われます。質問した議員ごとに要約してお知らせします。（その他の質問の要約は掲載されておりませんので、録画中継の配信をご視聴ください。）

質問議員 (質問順)	質問項目	頁
星 隆悦	マイナンバーカードの現状と課題について	6
八島 定雄	「産み育てなくなる地域をいかにつくるか」について	7
戸村眞喜夫	道駅かくだの施設整備について	7
日下 七郎	仙南・仙塩広域水道用水の供給に関する覚書に関する質問 その他の質問 ・消防施設に関する質問について ・市道の管理について	8
菅野 マホ	「阿武隈急行線の令」について 「ふるさと納税の使途」について	8
小湊 毅	角田市の財政状況について	9
菊地 利衛	角田駅周辺を賑わいの拠点に	9
馬場 道晴	子どもの全天候型「遊び場」について	10
湯村 勇	「道の駅かくだ」の見直しについて	10
柄目 孝治	豪雨災害など自然災害に対する備えについて	11
相澤 邦戸	「角田市ゼロカーボンシティ宣言」後の市の施策について 小田川にかかる住社橋、沼南橋について、またその周辺の道路、堤防整備について	11



「産み育てなくなる地域をいかにつくるか」について

八島 定雄

議員▼自治体で独自に病院を建てるのは大変だが、助産所であれば病院よりローコストで出来る。女性が角田の地域で産み育てることが出来るならば、助産所は未来への投資として大きな価値があると考えられる。市長の所見を問う。

市長▼助産所は、女性が地域で産み育てるに当たり有効なサポートの方法の一つだと認識している。異常産ではなく、正常産を基本にしている助産所は、産科医や病院との連携・協力があって、初めて成り立つ現状があり、仙南圏域全体での周産期医療の在り方の検討と一体的に検討していく必要がある。

学校図書館の運用状況について

議員▼読売新聞の社説記事に「公立小・中学校の図書購入費として国が自治体に交付している資金が十分に活用されていない」との指摘があった。角田市の現状について問う。

助産所ができたとしても、それをサポートできるといっていいか、これは、検討していきたい。これは、

市長▼学校図書館については教育委員会と協議し、デジタル図書など色々な

形の図書の整備を進めていい環境になるように努めている。
議員▼市内小・中学校の学校図書館の蔵書数（充足率）について、教育長に問う。
教育長▼小・中学校全体で蔵書数5万2,249冊、充足率80・63%であり、十分とは言えない状況のため、充足率を満たすよう努力していきたい。
議員▼教育長の学校図書館への思いを問う。
教育長▼学校図書館は、明るくきれいで、わくわくする場所であって欲しい。その点、図書館支援員や担当教諭、委員会の子どもたちの努力で、市内のどの学校もきれいに整頓され、本の配置などにも工夫を施し、知的で魅力的な空間になっていると認識している。



マイナンバーカードの現状と課題について

星 隆悦

議員▼国の施策で導入したマイナンバーカードが、現場では大混乱しているとのメディアで報道されているが、角田市の申請率および交付率を問う。

市長▼地方公共団体情報システム機構（J-LIS）で捉えている令和5年7月末現在の本市の申請率は76・1%、交付率は72・5%である。

議員▼申請率を増やすため、今後、どのような施策を考えているのか。

市長▼引き続き、現在の取り扱いを進めていき、周知徹底をする。

議員▼マイナンバーカードのメリットを問う。

市長▼本人確認の身分証明書、また、各種の行政手続きのオンライン申請等に利用できる。本市では令和5年1月からコンビニ等で、各種証明書の取得が可能となり、利便性の向上が図られている。

議員▼マイナンバーカードの更新手続きを問う。

市長▼有効期限は発行日から10回目（未成年は5回目）の誕生日まで、電子証明書は年齢問わず発行日から5回目の誕生日までとなるが、有効期限の2、3カ月前にJ-LISから有効期限通知書が届く。その通知書にID（個人識別番号）の記載がある場合、QRコードを利用してスマートフォンなどから更新手続きができるが、IDの記載がなければ市役所窓口で更新手続きを行う。

議員▼マイナンバーカードの健康保険証利用のメリットを問う。

市長▼受付が顔認証で自動化され簡略できること、正確なデータに基づく診療・薬の処方を受けられること、窓口での自己負担限度額以上の医療費の一時支払いが不要になる



▲マイナンバー保険証カードリーダー

ことが挙げられる。
議員▼現健康保険証は顔写真がなく、なりすまし（同年代で同性）が問題となっているとの情報もあるが、国保連合会から通知や情報があるかを問う。
市民課長▼現在のところ、なりすましに関する通知などはない。
議員▼混乱回避のため、国に対し意見すべきと考えるが、市長の考えを問う。
市長▼マイナンバー制度を不安視する方がいることは把握している。事案が発生した場合、そのような対応が必要となるため、しっかりと対応していく。



道の駅かくだの施設整備について

戸村 眞喜夫

議員▼道の駅かくだは開業4年を経過し、令和4年度の販売実績は2億2,600万円、推定来場者数は年間90万人を達成したようだ。当初、道の駅かくだが目指す5つの基本的な役割は、「情報発信の場」「市民が集い交流する場」「観光拠点の場」「地場産業の振興に寄与する場（農業、町なかの商店街との連携）」「地域の安心を担う防災の拠点となる場」とあっているのか。

市長▼「情報発信の場」は、情報コーナーでデジタルサイネージを活用した地域情報を提供し、外部にはホームページやSNS、各種情報誌やマスコミなどを活用している。「市民が集い交流する場」は、直売所における出荷者同士の交流や市民の文化活動等の小規模イ

ベントを数多く実施し、市内外の交流ができる環境を提供している。「観光拠点の場」は、梅まつりやずんだまつりなど地域の特産品を活用したイベントなどを実施し、角田市をPRするとともに、市内の観光施設を案内している。「地場産業の振興に寄与する場」は、地元食材を活用した惣菜や弁当等の開発・販売、農業の収穫体験や商店街と連携したスタンプリナーなどを実施している。「地域の安心を担う防災の拠点となる場」は、角田市地域防災計画に基づき、防災倉庫を設置し、災害時の活用に向けて適切な管理を行っている。議員▼基本的な5つの役割を達成するには、現在の施設のままでいいのか。出荷者協議会からは、売り場面積など、施設が

狭すぎて生産者が生産物を十分出荷できない、車椅子使用者の方々が買い物できないなどの苦情が上がっており、早急に売り場面積を拡張してもらいたいなどの要望書が出ている。今後の計画も含めて、市長の考えを問う。
市長▼売り場面積が狭い状況は認識をしている。要望書が実際に提出されているので前向きに検討し、できれば、来年に向けて、改修内容・方法について、指定管理者であるまちづくり角田、出荷者協議会などと協議しながら、生産規模、事業規模に見合う内容を見極めて進めたい。
その上で、長期的にいろいろの要望にこたえられるよう、周辺整備についても関係部署と協議しながら進めたいと考えている。



仙南・仙塩広域水道用水の供給に関する覚書に関する覚書について

日下七郎

議員▼令和6年度以降の「仙南・仙塩広域水道の年度別需給水量に関する覚書(以下「覚書」)について問う。

市長▼角田市の年度別需給水量は、次のとおりである。

年度	需給水量
令和5	10,300m ³ /日
令和6	11,500m ³ /日
令和7	11,400m ³ /日
令和8	11,300m ³ /日
令和9	11,200m ³ /日
令和10	11,100m ³ /日

議員▼覚書に基づく水道用水供給料金の改定について問う。

市長▼県から示された令和6年度から10年度までの需給に係る料金単価は、今年度と比較し、税抜額で「基本料金」が1立方メートルあたり18円減の799

円、「使用料金」が1立方メートルあたり1円減の41円である。

議員▼供給料金改定の算定の根拠について問う。

市長▼水道事業所長▼算定は、「基本料金」と「使用料金」の二部制で、「基本料金」は減価償却費・特定多目的ダム法に規定する負担金・市町村交付金で、「使用料金」は業務に携わる職員の給与費・施設の修繕費・保守点検費・管理維持費、建設費の支払利息などがある。

議員▼供給料金の値下げ幅が小さいと思われるが

市長▼協議会で協議した結果であり、妥当であると考えます。

議員▼今年の夏場の対策として、枝野配水池に広域水道水の送水を増量するため、宮城県公営企業管理者あてに給水量の変

更を申請し、枝野・藤尾両地域への給水が可能か問う。

市長▼広域水道から枝野配水池への送水は、1年を通しての送水量である1時間あたり約15立方メートルのところ、猛暑により7月中旬から約40立方メートル増量しているが、7月26日からは給水量の変更申請により水道水の供給に支障が出ないよう対応している。また、8月4日から阿武隈川の水温が30度以上になり、1時間当たり約45立方メートルの送水としている。

議員▼水道水のおいしい水は、水温15度といわれている。現在、1時間当たり約45立方メートルのことだが、送水量100%(100立方メートル)にできないか。

市長▼来年度以降に向けて十分検討していきたい。



「阿武隈急行線の今」について

菅野マホ

議員▼「阿武隈急行線利用促進協議会」の再開を要望しているが、進捗と組織イメージを問う。

市長▼現在検討中。通勤や通学の利用者も含めて市民の皆さんの声を反映できる組織と考えている。

議員▼角田高校では生徒会がアンケート調査をしたり、大学生がSNSで「あぶきゅっ応援団」を発足したり等、市民活動が展開されているが。

市長▼阿武隈急行線は重要なインフラであり、守り抜かなければならない。存続を願う住民の声は、「阿武隈急行線在り方検討会」(※)へもしっかりと届けたい。

(※)経営難の阿武隈急行線の今後を話し合う有識者会議、令和5年3月発足で約2年間。議員▼先日大崎市に調査に伺い、担当者に陸羽東線の利用促進企画を数多く紹介いただき、存続への熱い思いが伝わった。

市長▼大崎市の陸羽東線の取組は、大変参考になる。沿線自治体で協力し利用者増に努めたい。

「ふるさと納税の使途」について

議員▼令和3年度ふるさと納税額が29億1,236万7,500円で、県内トップになったのを機に、市民の関心が高くなっている。令和5年度の見込みについて問う。

市長▼35億円を目指して取組を進めたい。議員▼現時点で積み立てた基金額を問う。

市長▼今年度分も含めて約110億円弱の寄附金がある。そのうち、42億1,000万円を基金に積み立てている。

議員▼第416回定例会において市長は「ふるさと納税の積立てが潤沢になり満たされたとなれば、見える形で市民の皆様への納得する形で使っていく必要がある」と発言していたが、

「一言及したが、その時期はいつになり、納得する形とは何か。市長▼今年度中に「ふるさと納税基金」(仮称)を創設し、使わなくてはいけない部分から積極的に投入していく予定だ。寄附金をどのような事業に活用したのかきちんと見える化を図ることが、市民、また納税をしていただいた皆様の納得する形であると捉えている。議員▼高校生が項目の一つに「阿武隈急行線のために」を要望しているが、市長▼協議が必要である。議員▼ふるさと納税が止まる場合も想定し活用をしているか。



角田市の財政状況について

小湊毅

議員▼自治体の財政状況を判断する指標の一つとして経常収支比率がある。令和元年度が105.2%、2年度が98.8%、3年度が90.7%、4年度が99.7%である。令和4年度が前年度から9%も上昇した要因を問う。

市長▼収入の面では、普通交付税が約2億9,000万円の減、臨時財政対策債が約3億5,000万円の減などにより約6ポイント上昇。支出の面では、職員数の増などに伴い人件費が約1億8,000万円の増、現在の物価高騰などに伴う物件費が約1億6,000万円の増などにより、約3ポイント上昇。これらが要因である。

議員▼臨時財政対策債が減額になった理由は何か。財政課長▼国税の伸びにより、臨時財政対策債の

発行可能額を少なくする取組が令和4年、5年で行われた関係で、各自治体とも歳入予算の減額に至った。

議員▼普通交付税が減額になった理由は何か。

市長▼市税の固定資産税が2億3,500万円程度増えた分、その同程度減らされたためである。議員▼令和5年度以降、どのように推移すると予測しているのか。

市長▼予算規模による予測の範囲となるが、令和5年度から7年度の3年間にかけ、およそ102%から103%台で推移すると予測している。議員▼角田市は財政的に健全な状況と考えているのか。

市長▼経常収支比率だけで判断すれば、財政状況は硬直化していると言えるが、その他の健全化判断比率等の指標を全体で

見れば、安泰とまではいえないまでも、現在は危機的状況ではないと判断している。

しかし、物価高騰による経済状況・複雑多岐に及ぶ行政運営・国から地方への事務対応など先行きの不透明さや、将来負担の一つである公債費の微増、人口減少が拍車をかけて、税収減も起きていることを鑑み、引き続き危機感を持ち、財政状況・経済状況を注視し、財政運営を行っていく。

その対応として、抜本的な事務事業や使用料・手数料の見直しが必要とされており、官民連携の推進など経常的な支出の抑制をさらに進めている。一方、現在堅調なふるさと納税寄附金を原資として積み立てた、各種基金を有効に活用しながら、持続可能な財政運営をしっかりと行っていく。



角田駅周辺を賑わいの拠点に

菊地利衛

議員▼角田市が近隣市町と比べて速いスピードで人口減少、少子高齢化が進んでいる背景には、「希望する仕事やキャリアを形成できる職種が少ない」などの理由があげられる。多種多様な職種の確保と若い世代、特に女性の人材を受け入れられる雇用環境を整えるため、市と市内企業による作業部会なるものを組織し、努力すべきだ。

市長▼環境を整備するための情報収集・意見交換は、既存の誘致企業連絡会議があるので、そのような機会を活用するところから始めていきたい。議員▼角田市内に住んでもらうためには、若い世代を引きつけるようなまちづくりが必要だ。「楽しい」をキーワードにしたまちづくりを角田駅周辺で展開し、住んでみたいと思えるまちに変えていく必要がある。

市長▼社会的なコミュニティの場が足りないことは認識しており、頑張っていく。議員▼賑わいを醸し出すために、角田駅西側地区も開発する必要がある。工業用地を開発し企業誘致を進めるとともに宅地開発を進め、働く人が集まり多くの市民が暮らす場所にするにも必要だ。市長▼角田駅西地区の開発は大変重要である。土地利用の見直しが可能であれば、企業誘致などの新たな展開が期待できるものと考えている。

議員▼角田駅を軸とした丸森町及び中核病院を結ぶバス路線の公共交通も、高齢者や高校生、観光客などの利便性を高め、駅周辺の賑わいの一助になると思うがどうか。

市長▼通院の観点からみれば、現在、中核病院まではタクシー料金の助成を実施している。高校生や観光客には阿武隈急行線を利用いただきたい。議員▼駅周辺の賑わいづくりも、阿武隈急行線が存続しないのでは意味をなさない。阿武隈急行線自治体で策定した「阿武隈急行線地域公共交通網形成計画」で示す目標①阿武隈急行線とバス交通等の一体的なネットワーク構築とサービス提供②駅を中心としたまちづくりの推進③生活やコミュニティ拠点としての場の提供は、私の意見と合致しており、速やかに実行できる体制を組むべきだ。



子どもの全天候型「遊び場」について

馬場道晴

議員▼「角田市子育て支援センターまめっこ」事業の7月・8月の開放場所は、角田児童センター（学校が休みで使用制限有）・市民センター・スポーツ交流館・ウエルパークの4会場である。午前と午後で別会場となる日もあり、利用者の利便性が悪く、担当職員の負担も大きい。また、子育て中の方より「水曜日の午後、土曜日と日曜日も開放してほしい」「安心して室内で遊べる場所を造ってほしい」との声が寄せられている。さらに、雨や雪などの悪天候に加え、猛暑による熱中症対策も大きな課題である。

安心して安全に遊べる場所を提供し、しっかりとした子育て支援ができるよう、子どもの全天候型「遊び場」を新たに造るべきである。市長の考えを問う。

配置してほしいとの要望もある。必要と考えるが、子育て支援課長▼別事業の子育て世代包括支援センター事業で、栄養士は、離乳食指導の育児相談で活動している。また、心理士は、健診等で都度対応しており、今後、育児相談等での活用も検討していく。

今後、子育て支援センター機能の強化として、子育て相談員を拡充し、拠点施設を常時開放するほか、児童センターの本来機能である自由來館制をコロナ禍前の状態に戻すなど、利用者の利便性の向上を図っていく。その上で、子育て世代のニーズや本市の財政状況なども踏まえて、子どもの全天候型「遊び場」の設置も検討したい。

議員▼土曜日・日曜日の開放は、お父さんが子育てに参加するきっかけにもなる。子育ての悩み・相談・情報共有にもつながるため必要と考えるが、子育て支援課長▼来年度は、土曜日の児童センター開放を検討している。引き続きPRや周知活動を実施するほか、新たに子育てアプリを導入する予定であり、更なる利便性の向上を図っていく。



「道の駅かくだ」の見直しについて

湯村 勇

議員▼開業4周年を迎えた「道の駅かくだ」はKスポとの連携、敷地内のドッグラン設置・キッチンカーの販売も功を奏し、経営状況が令和3年度より黒字となっている。一方、利用者から「売場面積が狭いためレジ付近が混雑する」「通路が狭い」「フードコートの空席状況がわかりにくい」、出荷者から「陳列場所が狭い」などの意見がある。角田市が活性化するためにも、全国にある道の駅の状況を調査し、できることから着手し、見直しが必要と考えるが、市長の所見を問う。

者から出荷できるスペースが狭いのご意見を伺っている中で、陳列場所の確保に向けた検討を、出荷者協議会とともに進めていきたい。



▶地場産野菜などが並ぶ直売所は、土日非常に混み合う（平日夕方撮影）

議員▼「県道側入り口の拡張」「フードコートの拡張」「地元出荷者の陳列場所拡張」について、それぞれの対応を問う。

市長▼「県道側入り口の拡張」は、造成時に公安委員会等の許可を得ているため、すぐに拡張することは難しいが、現在の利用状況を見定めて検討していく。

「地元出荷者の陳列場所拡張」は、市内の生産



豪雨災害など自然災害に対する備えについて

柄目孝治

議員▼8月に行った角田地区9行政区合同の異常気象災害対応訓練は、自らが何をすべきなのか」を考え、防災や減災に対する意識を高めることが目的であった。それぞれの地域環境や住民構成には大きな違いがあり、一筋縄ではいかないと思料するが、市長の所見を問う。

肝要と察するが、所見を問う。

市長▼要配慮者の避難の支援は重要で、誰がどのように支援をし、どのような方法で避難するのかを確認しておく必要がある。災害時に迅速かつ適切に避難行動の支援ができるよう、本人の同意がある場合には、民生委員に情報提供をすることも、会議で情報交換をするなど、避難の支援体制づくりを連携して行っている。

議員▼線状降水帯や集中豪雨など局地豪雨による災害リスク、いわゆる土砂災害、内水の水位上昇などに対する対策と避難体制など、安全確保について、市長の所見を問う。

市長▼迅速な情報収集と対策指示が必要と認識している。市民には防災マップ（土砂災害編）などの活用を周知し、自主



「角田市ゼロカーボンシティ宣言」後の市の施策について

相澤邦戸

議員▼地球温暖化対策実行計画検討委員会の①プロジェクトチーム会議、②地球温暖化対策実行計画総合戦略会議のメンバー構成と検討内容を問う。

市長▼①は関係部署職員13人で構成し、基礎情報の収集・分析・計画の企画立案等、②は学識経験者や一般公募の市民等14人で構成し、ロードマップ検討、再生可能エネルギーの導入目標設定・拡充に向けた検討等を行う。

議員▼宣言後の活動を市民にどう知らせているか。

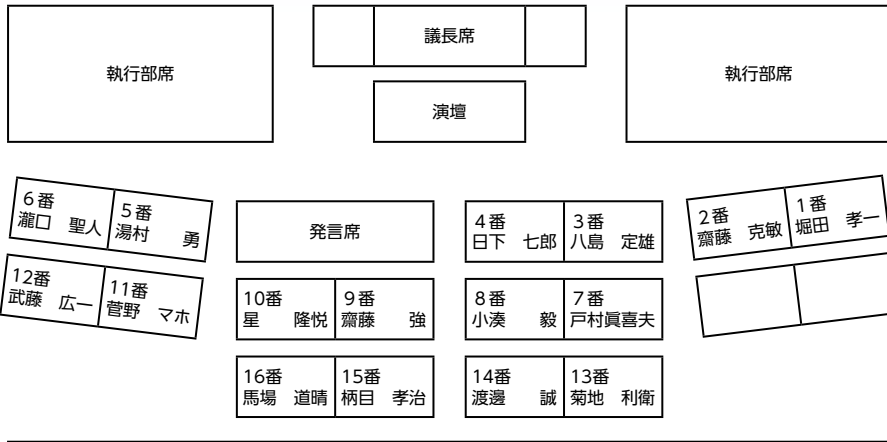
市長▼環境シンポジウムや児童向けの環境学習会の開催、事業所訪問や情報交換会、広報かくだへの連載を実施しているが、行き届いていない部分もある。

議員▼環境基本計画にある地球環境活動団体の育成について問う。

? 議会のギモン

ぎせき 議席ってなに?

A 議員が議場で座る席のことです。市議会議員選挙後最初の会議（第423回臨時会）では、新たな議会の体制を整えるため、議長と副議長を選出したほか、下図のとおり議席が決定しました。角田市議会では、議長は最終番（16番）、副議長は1番としており、会派ごとになります。



議席には、議員の氏名と番号が記された氏名標があり、出席時に立てて（写真上）、離席時に倒します（写真下）。



傍聴席・記者席（2階）

10月	9月	8月	7月
19日 議会だより編集会議	25日 第423回臨時会招集告示	1日 本会議（第1日）・正副委員 長会議・議会だより第223 号発行	25日 第422回定例会招集告示・ 会派代表者会議
5日 議会だより編集会議	28日 本会議（第5日）・議会運営 委員会・議会だより編集会議	9日 本会議（第2日）・決算審査 特別委員会（第1日）	27日 議員協議会・議会運営委員会
15日 議会だより編集会議	22日 本会議（第3日）・議員協議会 本会議（第4日）・会派代表 者会議・議会運営委員会	17日 決算審査特別委員会（第2日） 決算審査特別委員会（第3日） 決算審査特別委員会（第4日） ・会派代表者会議	1日 本会議（第1日）・正副委員 長会議・議会だより第223 号発行
2日 正副議長選挙の立候補者所信 表明演説会・本会議（第1日） 会派代表者会議・常任委員会 （総務産業・教育厚生建設） 議会運営委員会	21日 決算審査特別委員会（第5日） ・議会運営委員会	3日 議会運営委員会	25日 第422回定例会招集告示・ 会派代表者会議

議会日誌

編集後記

1980年代の昭和の音楽「シティ・ポップ」の世界的ブームも大きく影響して、ここ最近、20～40代でアナログ（レコード）が復活しており、ストリーミングサービスから気に入った曲をレコードで購入することが流行っているようです。

押し入れや物置からレコードを引っ張り出し、1970年代のPOPSを聴くと、音に温かみがあり、非常に風情がありました。やはりレコードはいい。評判通りです。

青春時代に夢中になった音楽をレコードで聴きながら、若かりし頃の思い出に浸ることもいいではありませんか。さあ、今夜は、サンタナでも聴いてみるか。

議会だより編集会議
会長 戸村 眞喜夫

12月定例会の予定

会期
12月5日（火）～12月21日（木）

本会議の日程（午前10時開会）	
12月5日	提案理由の説明
14日	質疑・自由討議
19日	討論・表決・一般質問
20日	一般質問
21日	最終日

※日程は変更になる場合があります。
※本会議はライブ配信を行います。

請願・陳情の提出期限は
11月28日（火）まで

議会だより第223号（8月号）アンケート結果

8月号で興味を持った記事はありましたか。（複数回答）
（モニター8名、うち回答者7名）

- ① 質疑・討論 2人
- ② 議案審議結果 4人
- ③ 一般質問（質問項目） 3人
- ④ 一般質問（一般質問内容） 3人
- ⑤ 行政視察報告 1人
- ⑥ 政務活動費収支報告 1人
- ⑦ 議会日誌 0人
- ⑧ 角田市議会議員のハラスメントの防止等に関する要綱 2人
- ⑨ 興味を持った記事はなかった 1人

詳細は市議会のホームページをご覧ください。